

吾妻山の火山活動解説資料

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

吾妻山では大穴火口付近直下を震源とする火山性地震が 5 月 3 日以降増加し、本日（6 日）に入ってから 12 時までに 79 回と多い状態となっています。日別の地震回数が 50 回を超えるのは 2015 年 1 月 14 日以来です。

また、本日 3 時 20 分頃に火山性微動が発生しました。吾妻山で火山性微動が観測されたのは、2015 年 2 月 14 日以来です。

大穴火口付近では引き続き小規模な噴火が発生する可能性がありますので、大穴火口周辺（火口から概ね 500m の範囲）では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

2014 年 12 月 12 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に上げました。その後警報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 1、図 4 - 、 ）

本日の大穴火口（一切経山南側山腹）の噴気の状況に変化は認められません。

- ・地震や微動の発生状況（図 2、図 4 - 、 、 ~ 、 図 5 ）

大穴火口付近直下を震源とする火山性地震が 5 月 3 日以降増加し、本日（6 日）に入ってから 12 時までに 79 回と多い状態となっています。日別の地震回数が 50 回を超えるのは 2015 年 1 月 14 日以来です。

また、本日 3 時 20 分頃に火山性微動が発生しました。吾妻小富士東観測点（大穴火口の東約 3 km）で観測された火山性微動の継続時間は約 5 分 10 秒、最大振幅（上下成分）は 1.6 μ m/s と、これまでに吾妻山でみられた微動と同じ程度のものでした。吾妻山で火山性微動が観測されたのは、2015 年 2 月 14 日以来です。

- ・地殻変動の状況（図 3、図 5 ）

浄土平観測点（大穴火口から東南東約 1 km）に設置している傾斜計¹⁾では、微動発生に伴い一時的に西側（火口方向側）上がりの変動がみられました。2014 年 4 月頃からの長期的な緩やかな西側（火口方向側）上がりの変動は継続しています。

また、GNSS²⁾連続観測では、2014 年 9 月頃から一切経山南側山腹観測点（大穴火口の北約 500m）が関係する基線で緩やかな変化がみられており、一切経山付近の膨張を示唆すると考えられます。

国土地理院の広域的な地殻変動観測結果では、2014 年 12 月頃から一部の GNSS 基線で、山体の膨張を示す小さな地殻変動がみられます。

気象台では火山活動を注意深く監視しています。今後、更なる活動の活発化がみられる場合には、噴火警報等を発表します。

1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。

2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ (標高)」を使用しています (承認番号 平 26 情使、第 578 号)。



図1 吾妻山 大穴火口からの噴気の状況(5月6日)

- ・左図：福島市上野寺(大穴火口から東北東約14km)に設置している遠望カメラの映像です。
- ・右図：大穴火口の東南東約500mに設置されている浄土平火口カメラ(東北地方整備局)の映像(10時50分頃)です。
- ・大穴北西側火口壁の白色噴気の高さは20mです。

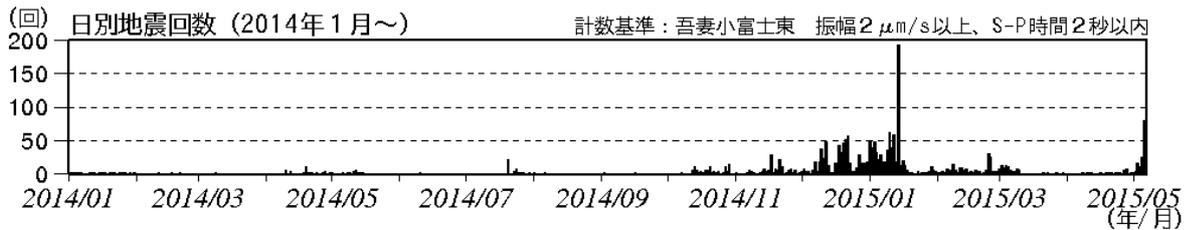


図2 吾妻山 火山性地震の日別回数(2014年1月1日~2015年5月6日12時)

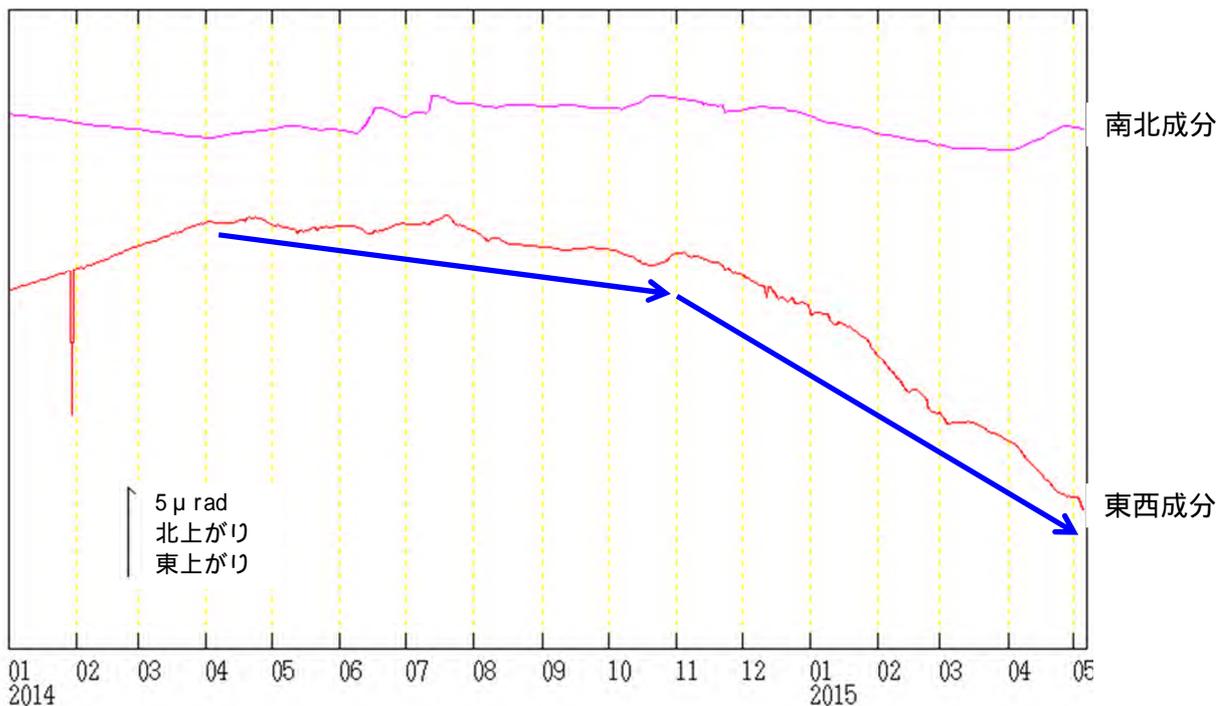


図3 吾妻山 浄土平観測点での傾斜変動(2014年1月1日~2015年5月6日12時)

- ・青矢印は傾斜計の変化傾向(東西成分)を示します。
- ・印は、機器に起因する変化です。

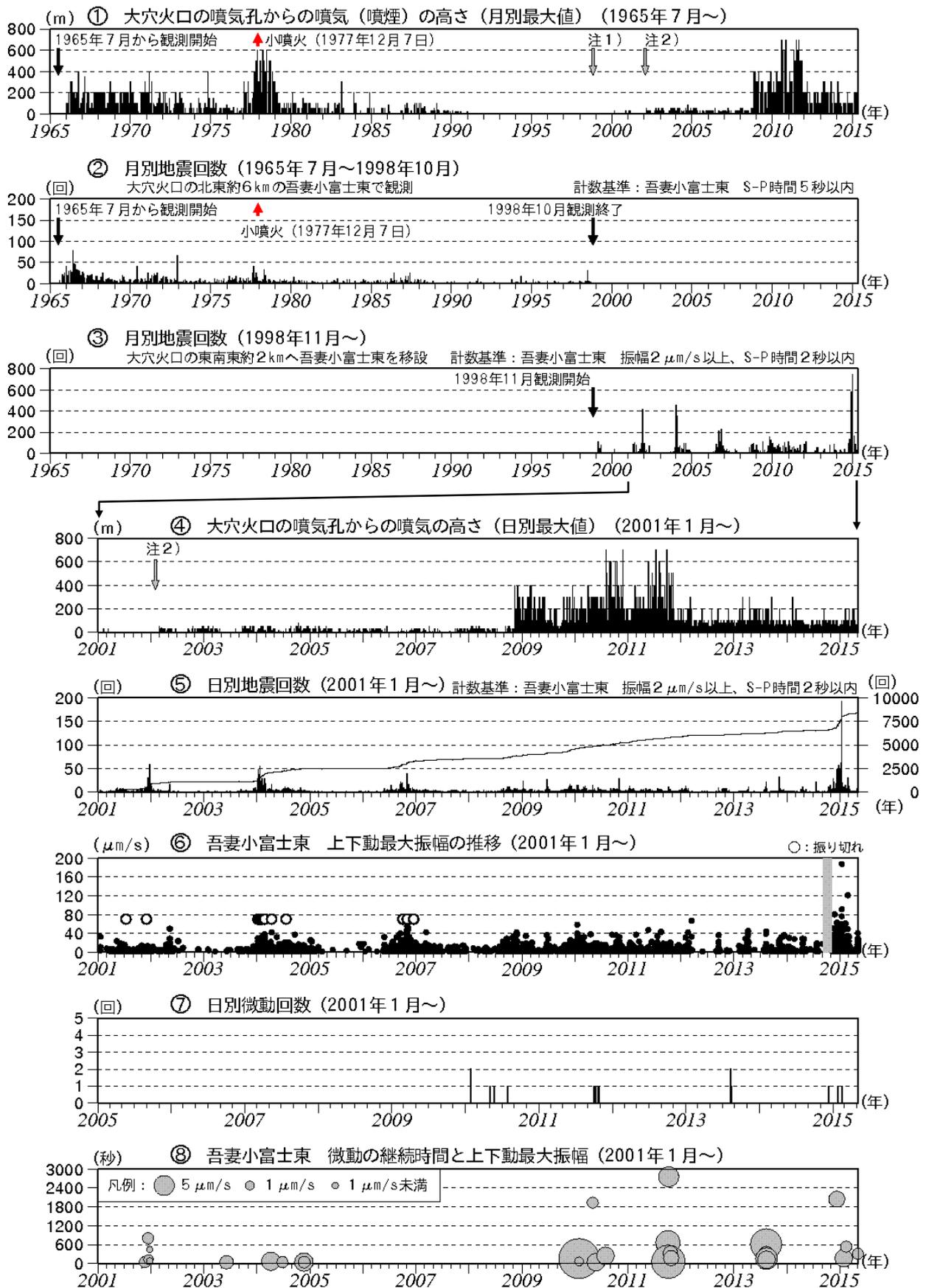


図4 吾妻山 火山活動経過図（1965年7月～2015年5月6日12時）

- ・ 注1）1998年以前は福島地方気象台（大穴火口の東北東約20km）からの目視観測で、1998年からは遠望カメラ（大穴火口の東北東約14km）による観測です。
- ・ 注2）2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さ、2002年3月以後は24時間観測による高さです。
- ・ の灰色部分は欠測を表しています。
- ・ 2012年以前は観測機器の設定により、振り切れ値が $70\mu\text{m/s}$ となっています。

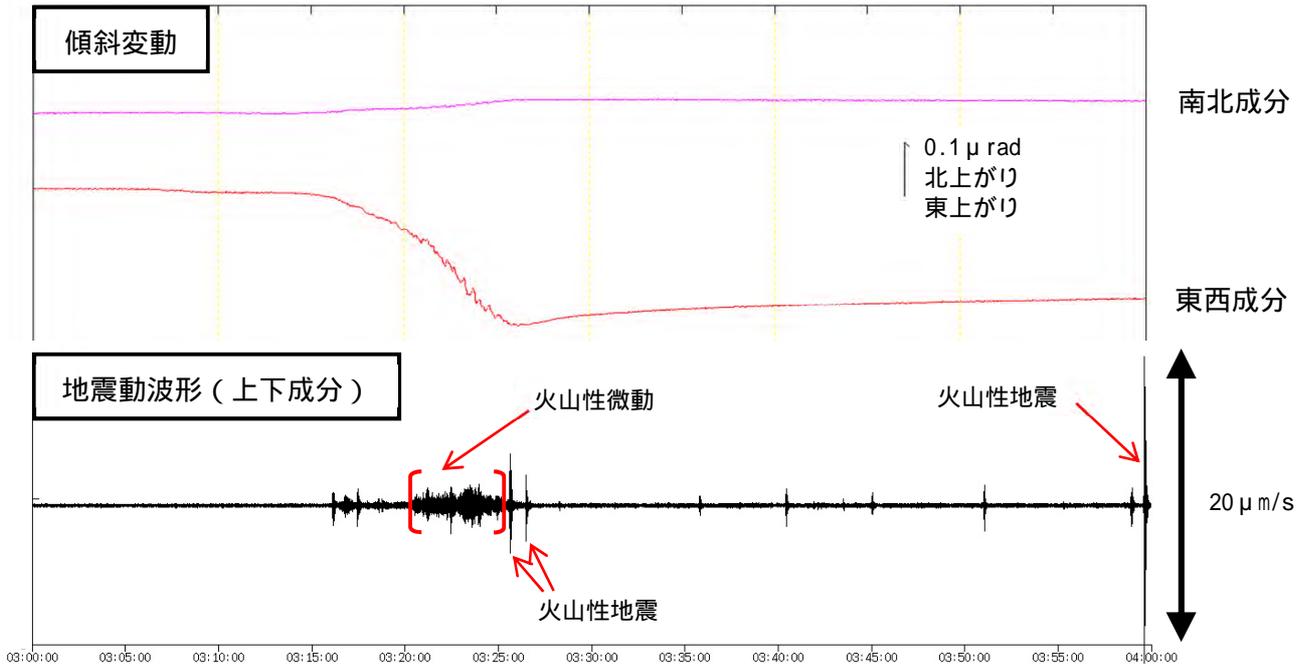


図5 吾妻山 微動発生時の浄土平観測点傾斜変動 (2015年5月6日03時~04時)

- ・ 上段：傾斜変動 (浄土平、秒値、潮汐補正あり)
- ・ 下段：地震波形 (浄土平、上下成分、速度波形、固有周期1秒)
- ・ 火山性微動に伴い、わずかな西側方向 (山頂側) 上がりの傾斜変動がみられます。

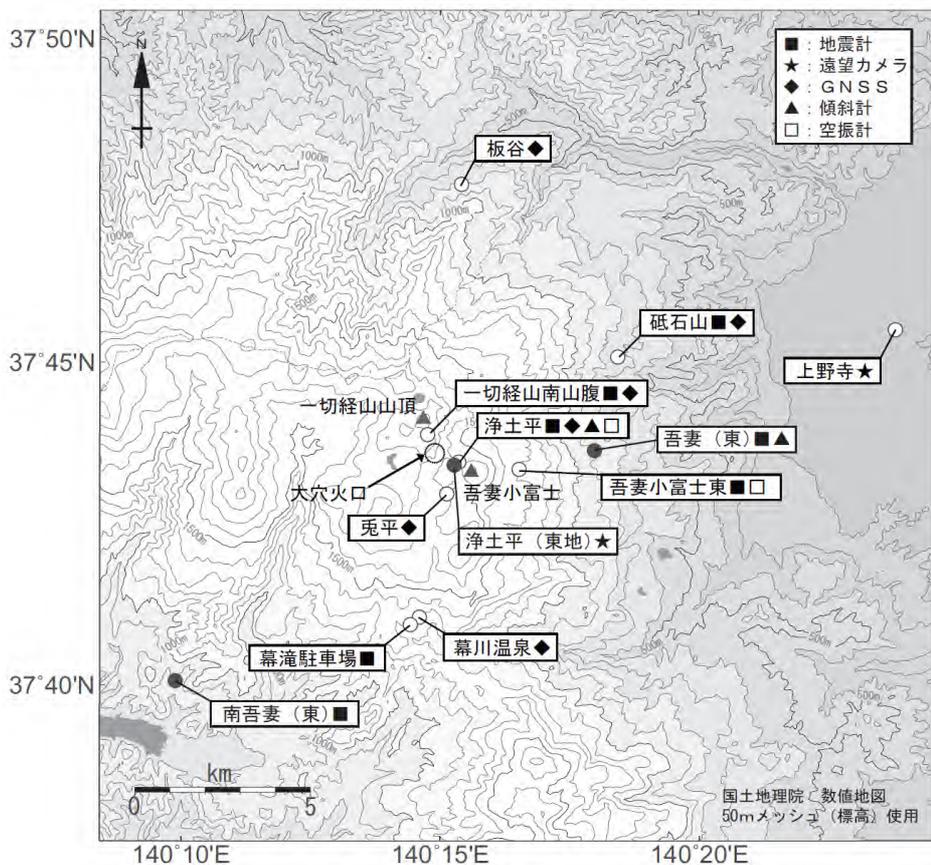


図6 吾妻山 観測点配置図

小さな白丸 () は気象庁、小さな黒丸 () は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(東)：東北大学 (東地)：東北地方整備局